

岡山県立真庭高等学校 看護科だより



まにこう看護科の
最近の様子を
チェックしよう！

ぐるっと真庭 看護研修ツアー—2023

10月18日(水)、看護科1年生23名が真庭市内の病院施設、福祉施設を訪問し見学する1日ツアーを実施しました。

今回のツアーは真庭地域の医療の現状を理解し、それぞれの施設が地域で果たす役割やそこで働く看護職従事者が果たす役割について考えることを目的としています。生徒は事前学習でそれぞれが訪問する病院施設・福祉施設について調べ、施設の概要を理解した上で参加しました。

当日は実習着に身を包み、12名ずつの2班に別れて見学しました。各施設ではそれぞれの施設が果たしている役割や機能につい

て説明を受け、施設内を案内していただきました。これまで患者としてしか見てこなかった病院を、初めて医療従事者の視点から見る事ができました。各施設が患者さんや利用者さんに安全で安楽な医療福祉サービスを提供できるよう施設面で様々な工夫がなされていたり、スタッフの方が細やかな配慮で患者さんに対応されていたりする様子を見学させていただきました。

後日行われた事後学習では、それぞれの班が学んだことを共有し、振り返りを行いました。



今回の訪問先は以下のとおりです。(関連施設を含む)

A 班 湯原温泉病院→勝山病院→落合病院→向陽台病院

B 班 湯原温泉病院→近藤病院→金田病院→白梅の丘

ご協力いただきました、真庭市医師会を始め、市内病院・福祉施設の皆様、お忙しい中丁寧に対応していただき本当にありがとうございました。



研修ツアーを終えて… (生徒の振り返り)

- ・発熱の患者さんの場合は、病院の外から直接中に入れる診察室が用意されていて、そのすぐ近くに内科があり、病院の構造にも工夫があることがわかりました。今日来なかったら気づくことができなかったと思います。病棟やそれぞれの施設などについて優しく丁寧に詳しく教えてください、患者の立場では知ることのなかった職種やその職種の役割を知ることができました。多職種で情報を共有することが大切だとわかりました。
- ・訪問看護ステーションでは、高齢者の方を訪問すると思っていたのですが、赤ちゃんや若い人の家にも訪問すると聞き驚き

ました。一人ひとりと向き合い看護をされていることがわかりました。私が訪問看護をすることになったら、利用者さんの気持ちを考え、今何をすればその人にとって嬉しいのかを考えて行動し、利用者さんのモチベーションが保たれる看護をしたいと感じました。

・医師や看護師、介護福祉士など様々な人が連携して、利用者さんがよい1日を過ごせるようにされていました。印象に残ったのは利用者さんが作られた作品です。麻痺がある方や手先が自由に使えない方が、丁寧に細かい作品を作られていて驚きました。作品をコンクールなどに出品し入賞されていると聞き、リハビリのモチベーションにつながると感じました。